

誠愛TIMES

広報誌
平成25年 初夏号
特定医療法人社団 三光会
誠愛リハビリテーション病院

先生紹介

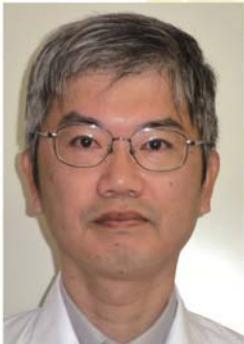
入社式・新入職員挨拶

出張報告

短時間通所リハビリテーションが
はじめました

〒816-0956 福岡県大野城市南大利2丁目7番2号
電話:092-595-1151
メールアドレス:info@seiai-riha.com
ホームページ:<http://www.seiai-riha.com>

先生紹介



平成24年12月より当院に勤務しています。平成2年九州大学医学部卒業し、九州大学病院、聖マリア病院、九州中央病院、福岡東病院、九州労災病院、今津赤十字病院など転々と勤務してきました。当院も今回3回目です。主に脳卒中が専門で急性期から慢性期リハビリテーションまで診療を行ってきました。一般内科診療にも従事していました。当院はリハビリテーション中心の診療ですが、これまでの経験を十分に生かして診療していきたいと思います。リハビリテーションを通して、皆さんの生活の質の向上に貢献出来たらと思っていますので、今後ともよろしくお願ひします。

話は変わって、ここからはマイブームについて少し述べたいと思います。プロ野球やサッカー等を含めスポーツ観戦が好きですが、最近の注目は錦織圭選手です。ご存知の方も多いと思いますが、プロテニス選手です。フォアハンド、バックハンドのストロークの威力は抜群で、エーケイと言われるジャンピングショットやドロップショット等を駆使し想像力あふれるプレイをすることで、強いだけでなく見ていて楽しい選手です。本原稿執筆時世界ランキング16位ですが、上位選手に勝っている事もあり、今後もランキング上昇が予想され、温ンブルドン等の4大会優勝も夢ではないと思います。最近はインターネットで情報が得られますので、楽しみにして応援しています。興味がある方は応援して頂けたらと思います。

郷田 治幸(九大平成2年卒業)

皆さん、こんにちは。平成24年9月から非常勤内科医師として勤務しております江藤と申します。これまで、非常勤医師として急性期病院で外来診療のみを行っていました。このたびご縁があつてこの誠愛リハビリテーション病院に勤務することになったのですが、リハビリテーション医療に携わるのは初めてのことでの、勤務を始めた当初は戸惑うことばかりでした。

ただ患者さんの病気を診るだけでなく、患者さんが社会の中でいかに「よりよく」生活していくか、ということも併せて考えていかなければいけないという点が今までと大きく異なるところで、患者さんやご家族の皆さん、スタッフの皆さんからいろんなことを学ばせて頂き、充実した日々を送っています。

長い道のりに足を踏みいれたばかりですが、一歩一歩着実に歩んでいきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

江藤 真弓(九大平成3年卒)



出張報告

平成25年3月21～23日に、東京都品川区で開催された第38回日本脳卒中学会総会にて、当院医局から2演題、リハビリテーション部から2演題の計4つの演題発表を行ってきましたのでご報告いたします。

私が発表した演題は「片麻痺歩行における遊脚相の運動方略の違いが初期接地に及ぼす影響」というタイトルで、片麻痺患者の歩行時における麻痺側下肢が踵から着床しにくい要因について、下肢を振り出している時期の運動力学的分析を行い、原因および改善方法を検討するといった内容です。健常人では歩行時に踵から着床することにより、ロッカーファンクションという足部機能が発揮され、身体を効率よく前方へ推進させることができますが、片麻痺患者の多くは前足部から着床するため、この機能が阻害されています。今回の研究結果からは、前足部から着床する患者群は麻痺側下肢を振り出す股関節運動が弱いことと、着床する直前で膝が伸びにくい状態であることが要因として考えられ、股関節・膝関節運動の再学習を行う必要性があること提案してきました。

学会期間中には主にリハビリテーション関連の講演・演題発表を聞いてきましたが、全体を通して麻痺側上肢・手指機能回復に関する内容や摂食・嚥下に関する発表が多く、セラピスト達も多く参加されており、脳卒中リハに関する先進的な情報を多く学べる学会でした。

リハビリテーション部 理学療法課 大田瑞穂



短時間通所リハビリテーションがはじまりました！

2013年1月より、短時間通所リハビリテーションが開始しました。週一回、PT、OT、STがマンツーマンのリハビリを行うとともに、それぞれの利用者様に合わせた自主訓練の指導を行っています。週二回で利用を希望される方には、小人数での集団リハビリテーションを、セラピストの指導のもと行っています。

椅子に座ってストレッチ!
身体の柔らかさや筋力の向上を目指します。



入社式／新入職員挨拶

本年度より、当院にて言語聴覚士として働くことになりました。社会人として働き始めて一ヶ月、一つ一つの言動に責任が伴い不安を感じることもありますが、先輩方に温かいご指導を戴き、充実した日々を過ごしています。これから、一期一会を大切に、患者の皆様一人ひとりの生活に寄り添った治療を目指し、技術の向上と人間的な魅力を磨くよう励んでいきたいと思います。未熟者たちですが、一日も早く一人前の医療人となるよう努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

リハビリテーション部 言語聴覚士 中野よし乃



患者さんの権利宣言

当院は次にあげる患者さんの権利を尊重した医療を行います。

1. 個人の尊厳とプライバシーを守る権利
2. 良質で適切な医療を公平に受ける権利
3. 自らのことを知り、説明を受ける権利
4. 医療行為を選択、そして決定する権利
5. セカンド・オピニオンを申し出る権利
6. 自分の診療に関する記録情報を得る権利
7. 日常生活に配慮した医療を受ける権利

患者さんへのお願い

当院では患者さんの権利を尊重するとともに、以下の事をお願いしています。
ご理解とご協力をお願いします。

1. ご自身の健康状態の変化に気づかれた場合は速やかにお伝えください。
2. 検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上、お受けください。
3. すべての患者さんが、快適な環境で適切な医療を受けることができるよう、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。